

平成 29 年 8 月 31 日

浜松市政記者クラブ加盟社 各位

本日は、お忙しい中、本記者会見に来て下さりありがとうございます。またいつも地元根差した報道をして下さることを心から感謝いたします。

9月10日に「死別体験をした子どもを支えるために～グリーフと自尊感情の育み～」という内容で講演会とパネルディスカッションを行います。また来年春の開始を目指し、浜松市で子どものためのグリーフサポートプログラムを年4回実施する予定です。

グリーフサポートについてより多くの方々に知っていただき、理解を得たいと思っています。本講演会と子どものためのグリーフサポートについてより多くの方々に知っていただくために、報道機関の皆様のお力をお貸しいただけたら幸いです。

\*9月10日の講演会とパネルディスカッションの様子及び登壇者の写真動画撮影及び取材は可能です。終了後に講演者及び登壇者へのインタビューの場を設けます。

## ■講演会とパネルディスカッション

□開催日時：平成 29 年 9 月 10 日(日) 午後 1:00～4:00 (開場 12:45～)

□内容：

1:00～基調講演

高橋聡美 (医学博士)、防衛医科大学校精神看護学教授

2:40～パネルディスカッション (当事者対談)

座長：西田正弘 (NPO 法人子どもグリーフサポートステーション代表、あしなが育英会東北事務所長)

パネリスト：保護者、遺児 OB

1. 導入：テーマの説明 (3分 西田)

2. ニュースビデオ紹介「グリーフサポートの現場」(7分 DVD)

3. 体験談：遺児 OB (遺児として、ファシリテーターとして)

保護者 (大人) として (各5分～10分)

4. ディスカッション

①グリーフサポートの場の可能性

②コミュニティ (地域) はどう支えるか

③会場との意見交換

\*パネルディスカッションの内容は一部変更する場合があります。

- 会場：浜松こども館分室ここ・い～ら  
<http://www.hcf.or.jp/facilities/kodomokan/bunshitsu/>  
浜松市中区鍛冶屋町 100-1 ザザシティ中央館 5 階ギャラリー2  
駐車場に関する情報：  
<http://www.hcf.or.jp/facilities/kodomokan/bunshitsu/access/>
- 参加費：無料
- 託児：事前にご相談下さい
- 定員：150 名、定員になり次第、締切らせていただきます。  
心身に障がいをお持ちの方、付き添いの方、妊娠されている方や体調がすぐれない方のための優先座席がございます。当日受付でお申し出下さい。  
会場にはバリアフリーの多目的用のトイレがあります。
- 主催：「子どもグリーフサポートの場を浜松にも」準備委員会  
<https://gskh.jimdo.com/>
- 共催：浜松市（精神保健福祉センター）、  
NPO 法人子どもグリーフサポートステーション、高橋聡美研究室

## ■グリーフとは

喪失体験に伴う愛惜や悲しみなど様々な感情です。親など大切な人との死別を体験した子どもは自覚や表出・制御の難しい、生きづらさを抱えています。時間を経て子どもたちの心は癒されると周囲は思いがちですが、悲しみ、恋しさ、怒りなどさまざまな感情は消えることはないでしょう。しかし子どもたちは、そういう気持ちを抱いたままでも、自分らしく未来を切り開いていくことはできます。そのために、子どもたちの心に寄り添い、子どもたちが自然なままで安心して様々な感情を表現できる場を作ることが必要です。

福島（福島市）、岩手（陸前高田市と釜石市）、宮城（仙台市）では、東日本大震災で大切な人を亡くした子どものためのグリーフサポートプログラムが NPO により実施されています。

また、日々の生活の中で、子どもたちは、自死・自殺、病気や事故で大切な人を亡くすこともあります。こうした子どものためのグリーフサポートは、一部の地域だけで実施されているのが現状です。そんな子どもたちをサポートする場を静岡県浜松市にもつくり、来年春から実施したいと考えています（浜松市以外の子どもたちもサポート対象になります）。その第一歩として、9月10日に講演会とパネルディスカッションを開催いたします。

## ■ 「子どもグリーフサポートの場を浜松にも」 準備委員会

メンバーは男性3名、女性6名。会社員、看護師、主婦、ピアニスト、通訳など職業、そして年齢もさまざまです。現在は、「子どものグリーフを支えるワークブック～場づくりに向けて」（著：子どもグリーフサポートステーション著、監修：高橋 聡美）使って勉強会を実施しています。今後も勉強会を続け、専門家を講師に招き実践的な研修も行う予定です。同時に来年春からのサポートプログラムの会場探し、協力者、活動を実施するための募金活動も行っていきます。メンバーは常時募集中です。<https://gskh.jimdo.com/>

## ■ 問い合わせ先

「子どもグリーフサポートの場を浜松にも」 準備委員会メンバー 戸倉